



※センサー

首都直下の地震や東海・東南海・南海地震といった地震が発生した場合、目視調査による応急危険度判定・被災度区分判定に代わる技術が必要となる。本講演では、限界耐力計算法を援用したセンサーを用いた被災度区分判定手法を解説し、実建物の応答を用いて実例を紹介する。更に、センシングが普及した先に期待される社会について述べる。

# 安価なセンサーを用いた 建物の地震時被災度判定システムの開発

## その現状と未来

2023

6/20 火

18:00-19:30

楠 浩一

東京大学地震研究所教授



※2023年トルコ・シリア地震での被災建物

- ◆開催形式：オンライン（zoom ウェビナー）開催
- ◆参加費：無料
- ◆申込方法：下記 URL または QR コードよりお申し込みください。ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。
- ◆申込 URL： <https://forms.gle/DFpEhhhTgE3XyETV7>
- ◆申込期限： 2023年6月20日（火）正午まで



主催：名古屋大学減災連携研究センター

問合せ：防災アカデミー担当

MAIL: [inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp](mailto:inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp)